

## 第1 総務・地域保健推進担当

### 1 試験免許件数（平成28年度）

#### （1）厚生労働大臣免許

	登録	書換	再交付	抹消	計
医師	25	7	1	2	35
歯科医師	4	1	1	0	6
薬剤師	69	25	2	0	96
管理栄養士	34	23	2	0	59
保健師	30	22	0	0	52
助産師	4	6	0	0	10
看護師	190	118	8	0	316
診療放射線技師	17	4	0	0	21
臨床検査技師	27	5	1	0	33
衛生検査技師	0	0	0	0	0
理学療法士	62	15	2	0	79
作業療法士	25	10	1	0	36
視能訓練士	8	2	0	0	10
歯科技工士	0	0	0	0	0
合 計	495	238	18	2	753

#### （2）知事免許

	免許	書換	再交付	抹消	計
調理師	149	15	11	0	175
製菓衛生師	4	2	0	0	6
クリーニング師	6	0	0	0	6
准看護師	58	22	7	1	88
栄養士	66	34	6	0	106
診療X線技師	0	0	0	0	0
旧保健婦	0	0	0	0	0
旧助産婦	0	0	0	0	0
旧看護婦	0	0	0	0	0
登録販売者	42	7	8	0	57
合 計	325	80	32	1	438

### (3) 他県知事免許

	免許	書換	再交付	抹消	計
准看護師	—	2	3	0	5

## 2 埼玉県地域保健医療計画

### (1) 県央保健医療圏の圏域別取組

平成25年度を初年度とする「埼玉県地域保健医療計画(第6次)」がスタートした。

この計画における県央保健医療圏の圏域別取組は、次のとおりである。

#### ア 健康寿命を延ばす健康づくりの推進

- ・ 目 標：健康寿命を延ばす健康づくりを地域ぐるみで推進します。
- ・ 主な取組：■ 特定健診・特定保健指導受診率の向上及び特定保健指導等の効果的な実施
  - 食育の推進
  - 生活習慣病予防のための健康教育及び普及啓発の充実強化
  - 高齢者等の健康づくり関係機関の連携
  - 在宅高齢者の健康維持及び機能向上の推進
  - ソーシャルキャピタルを活用した健康づくり

#### イ 親と子の保健医療対策

- ・ 目 標：妊娠・出産・育児への支援及び小児期からの思春期を含めた親と子への一貫した保健対策を充実強化します。また、小児救急医療体制及び歯科保健医療体制を充実します。
- ・ 主な取組：■ 乳幼児健康診査・相談等の充実
  - 小児・思春期精神保健対策の充実
  - 思春期の保健対策の強化と健康教育の推進
  - 児童虐待のリスクのある家庭への支援体制の充実
  - 小児救急医療体制の充実及び適正受診の普及啓発
  - 歯科保健医療対策の充実

#### ウ 自殺対策の推進

- ・ 目 標：関係機関・団体が連携を強化し、自殺者数を減少させるために総合的に取り組みます。
- ・ 主な取組：■ 地域における普及啓発の推進

- 関係機関・団体の連携強化
- 相談支援体制の充実

#### エ 在宅医療の推進

- ・目 標：地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して在宅療養を受けられる支援体制を構築します。
- ・主な取組：
  - 関係機関・団体の連携強化
  - 在宅歯科保健医療体制の充実
  - 必要な情報の提供、相談・支援
  - 人材育成
  - 医療依存度の高い人への災害時支援

#### オ 安心・安全な暮らしを守る健康危機管理体制の充実

- ・目 標：地域における健康危機管理体制の充実強化を図るとともに、災害時の地域における医療救護体制、保健衛生活動体制を整備します。また、平常時から県民の安心・安全確保のための取組を推進します。
- ・主な取組：
  - 地域における健康危機管理体制の充実強化
  - 災害時の地域における医療救護体制・保健衛生活動体制の整備
  - 食品の安全性の確保及び薬物乱用防止対策の推進
  - 感染症対策の推進

#### (2) 埼玉県県央地域保健医療協議会

当協議会は、保健医療提供者、保健医療利用者及び行政の各代表者の委員で構成され、委員数は19名である。

平成28年度は、以下のとおり協議会を開催した。

日時・場所	平成28年9月6日（火） 上尾市東保健センター健診室
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会長・副会長の選出について</li> <li>・第6次地域保健医療計画の進捗状況について</li> <li>・自殺対策の推進状況及び県央地域自殺未遂者対策専門部会（案）について</li> </ul>
出席委員数	18名

(3) 埼玉県県央地域保健医療・地域医療構想協議会

地域保健医療協議会を母体に、地域医療構想調整会議の役割を付加した当協議会を平成29年1月16日に設置した。保健医療提供者及び行政の各代表者の委員で構成され、委員数は19名である。

(4) 在宅医療研修会

地域の関係機関・団体が連携を強化し、誰もが安心して在宅療養を受けられる支援体制を構築するため、平成25年度から実施している。

平成28年度は、以下のとおり北足立郡市地域を対象に研修会を開催した。

日時・場所 平成29年3月8日(水) 鴻巣保健所大会議室

内 容 ①北足立郡市医師会メディカルケアステーション運用ポリシーについて

②メディカルケアステーション操作実技研修

参加者 在宅医療・介護関係者、市町職員 67名

### 3 救急医療体制

#### (1) 初期救急医療体制

##### ア 救急告示医療機関

平成29年4月1日現在

所在地	医療機関名
上尾市	上尾中央総合病院、藤村病院
伊奈町	伊奈病院
鴻巣市	埼玉脳神経外科病院、こうのす共生病院、へリオス会病院、 村越外科・胃腸科・肛門科
桶川市	埼玉県央病院
北本市	北里大学メディカルセンター

##### イ 初期救急

平成29年4月1日現在

市町村	運営方法	備考
鴻巣市	在宅当番医、鴻巣市夜間診療所	鴻巣市医師会、鴻巣市
上尾市	平日夜間及び休日急患診療所	上尾市医師会
桶川市・伊奈町	在宅当番医	桶川・北本・伊奈地区医師会
北本市	在宅当番医	桶川・北本・伊奈地区医師会

##### ウ 小児初期救急

平成29年4月1日現在

市町村	運営方法	備考
鴻巣市	鴻巣市夜間診療所	鴻巣市
上尾市	平日夜間及び休日急患診療所	上尾市医師会
桶川市・北本市・伊奈町	在宅当番医	桶川・北本・伊奈地区医師会

#### (2) 中央地区第二次救急医療体制

中央地区においては、年間、毎日の夜間と日曜・祝日及び年末年始を、圏域内の8病院による病院群輪番制方式で実施している。

休日及び夜間の1日当たりの当番病院は、当救急医療圏を北、中央、南の3地区に分け、それぞれの地区で1病院が担当する体制としており、計3病院体制となっている。

地区	医療機関名
北	こうのす共生病院、へリオス会病院、埼玉脳神経外科病院
中央	北里大学メディカルセンター、埼玉県央病院、 北地区、南地区の病院
南	藤村病院、伊奈病院、上尾中央総合病院

## (3) 中央地区小児二次救急医療体制

小児二次救急医療体制は、平成12年度から県内14の第二次救急医療圏ごとに整備が進められてきたが、当保健所が担当する埼玉県中央地区では、中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会において、18年度から圏域で小児二次救急医療体制を整備することが決定された。

これを受けて、18年4月から、医師会、関係病院及び市町等と協議を重ね10月から管内2病院において、週2日（月・水）の輪番制による小児二次救急医療体制をスタートした。その後、平成20年4月からは週4日（月・水・木・金）、平成20年11月からは週5日（月・水・木・金・土）で実施していたが、平成25年9月からは週6日（月～土）実施となっている。日曜・祝日及び年末年始については、平成26年7月から昼間のみ実施され、今後は夜間帯の輪番整備が課題となっている。

## (4) 第三次救急医療体制

さいたま赤十字病院救命救急センター（さいたま市）他、県内8か所の救命救急センター

## (5) 埼玉県中央地区第二次救急医療圏救急医療対策協議会

日時・場所 平成29年2月20日（月） 鴻巣保健所 大会議室

議 題 ・救急医療について  
 ・小児救急医療について  
 ・救急医療における現状と課題について

出席委員数 19名

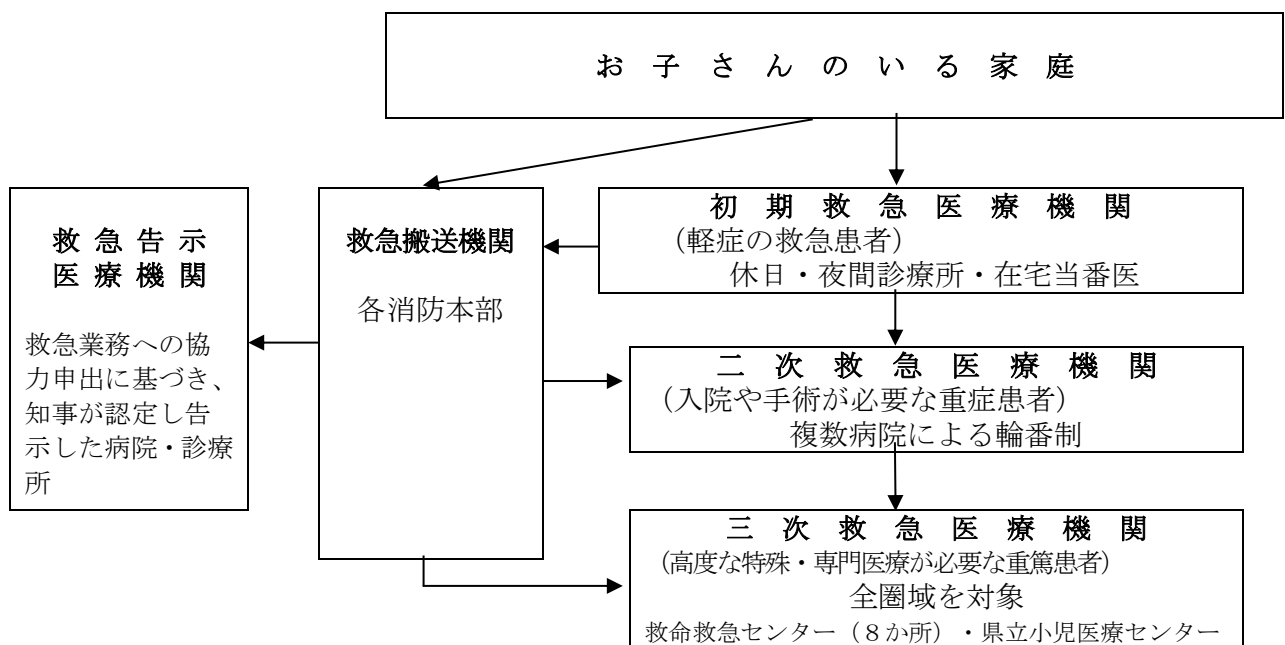
## (6) 小児救急医療体制の整備

### 1 課題

- ア 初期医療の充実、同時に初期救急を支える二次救急医療体制の整備が必要
- イ 医師会・病院の協力が不可欠
- ウ 住民への医療のかかり方についての普及啓発・教育が必要

### 2 整備の方向

- ア 初期救急医療体制の充実
  - 休日診療所・在宅当番医制 → 休日・夜間の急患診療所・在宅当番医制
- イ 小児の二次救急医療体制の整備
  - 複数病院の輪番制による入院や手術が必要な重症患者への対応



## (7) 救急電話相談

埼玉県では、急病やけがに対する県民の不安を解消するとともに、軽症患者等の受診による救急医療機関の負担を軽減するため、大人の救急電話相談（＃7000）及び小児救急電話相談（＃8000）を実施している。

また、平成29年10月からは全国共通ダイヤル（＃7119）でも対応できるようになり、年中無休、24時間相談が可能となった。（音声案内から小児、大人、医療機関案内の各担当窓口を選択できる。）

#### 4 医務

##### (1) 医療提供体制

##### ア 医療施設数

平成29年3月31日現在

	病院	一般診療所			歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所
		計	有床	無床				
埼玉県	344 (4.7)	4369 (59.9)	220 (3.0)	4,149 (56.9)	3,576 (49.0)	176 (2.4)	9,541 (130.8)	1,079 (14.8)
管内	18 (3.4)	296 (56.0)	18 (3.4)	278 (52.6)	238 (45.0)	11 (2.1)	682 (129.0)	79 (14.9)
鴻巣市	4	70	5	65	59	3	164	13
上尾市	5	118	7	111	97	4	280	31
桶川市	2	45	3	42	32	3	98	19
北本市	2	46	3	43	36	1	108	8
伊奈町	5	17	0	17	14	0	32	8

注 施術所とは、あん摩、マッサージ、はり、きゅう及び柔道整復を施す施設をいう（出張專業を含む）。

##### イ 病床数

平成29年3月31日現在

	計	病院					一般診療所
		精神	結核	療養	感染	一般	
埼玉県	62,458 (856.2)	14,160 (194.1)	130 (1.8)	11,903 (163.2)	74 (1.0)	36,191 (496.1)	2,813 (38.6)
管内	3,919 (741.4)	742 (140.4)	0 —	826 (156.3)	9 (1.7)	2,342 (443.1)	271 (51.3)

注 ( )内は、人口10万人比。人口は平成29年4月1日現在県推計人口。

##### (2) 医務事務取扱件数

平成28年度

区分	病院	一般診療所	歯科診療所	助産所	施術所	歯科技工所	計
開設許可	0	15	1	0	—	—	16
開設届	0	21	5	0	32	4	62
廃止届	1	14	11	0	14	0	40
休止届	0	4	2	0	0	0	6
変更許可	32	9	1	0	—	—	42
使用許可	19	2	0	0	—	—	21
変更届	9	38	13	0	36	0	96
計	61	103	33	0	82	4	283



(3) 小児科・産婦人科を標榜している医療施設の状況

平成29年3月31日現在

	総数(病院+一般診療所)			病 院			一 般 診 療 所		
	総数	小児科	産婦人科	総数	小児科	産婦人科	総数	小児科	産婦人科
総数	314	90	11	18	7	2	296	83	9
鴻巣市	74	20	3	4	1	0	70	19	3
上尾市	123	33	5	5	1	1	118	32	4
桶川市	47	13	1	2	1	0	45	12	1
北本市	48	16	2	2	1	1	46	15	1
伊奈町	22	8	0	5	3	0	17	5	0

(4) 立入検査

- 対 象 : 18病院 7有床診療所  
 期 間 : 平成28年9月～29年1月  
 重点項目 : ① 安全管理のための体制の確保  
 ② 院内感染防止対策  
 ③ 最近の医療機関における事件等に関連する事項  
 ④ 職員の健康管理

(5) 医療従事者数

平成26年12月31日現在

	医師	歯科 医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護 師	歯 科 衛生士	歯 科 技工士
管内総数	806	362	988	140	100	3,232	934	416	88
(比率)	(152.5)	(68.5)	(187.0)	(26.5)	(18.9)	(611.7)	(176.8)	(78.7)	(16.7)
鴻巣市	102	76	176	37	8	407	279	82	28
上尾市	327	158	392	51	64	1,303	283	191	38
桶川市	64	53	82	18	3	177	141	64	17
北本市	134	48	165	16	24	461	170	52	4
伊奈町	179	27	173	18	1	884	61	27	1

注 ( )内は、人口10万人比。人口は平成26年10月1日現在県推計人口。

調査は、2年度ごと。

## 5 各種統計・調査

### (1) 人口動態事務取扱件数

平成28年1月1日～平成28年12月31日

区分	出生票	婚姻票	離婚票	死亡票	死産票	合計
鴻巣市	747	474	143	1,051	10	2,425
上尾市	1,597	1,005	394	1,889	27	4,912
桶川市	471	305	96	646	10	1,528
北本市	400	259	103	553	6	1,321
伊奈町	333	191	71	349	3	947
合計	3,548	2,234	807	4,488	56	11,133

### (2) 特殊調査

#### ア 国民生活基礎調査

実施時期 平成28年6月

調査対象地区 9地区（鴻巣市（3地区）、上尾市（4地区）、北本市、伊奈町）

調査対象世帯数 398世帯

#### イ 社会保障・人口問題基本調査

実施時期 平成28年7月

調査対象地区 4地区（上尾市（2地区）、北本市、伊奈町）

調査対象世帯数 133世帯

## 6 医師・歯科医師臨床研修・学生実習の受入状況

### (1) 医師・歯科医師臨床研修

臨床研修病院から研修医師・歯科医師を受け入れ、地域保健における保健所の機能、役割及び公衆衛生の意義等について研修を行った。

平成28年度

研修病院名	研修医数	受入期間
さいたま赤十字病院	2人	平成28年9月26日～9月30日 (5日間)
	2人	平成28年10月3日～10月7日 (5日間)
明海大学病院 (歯科医師)	2人	平成28年9月7日 (1日間)

### (2) 学生実習

医師、看護師、保健師等の保健医療系及び管理栄養士等の栄養系の専門職の育成を支援するため、大学・養成校などの学生を実習生として受け入れ、地域保健や地域福祉の実務について実習指導を行った。

平成28年度

学校名	学生数	受入期間
埼玉医科大学 (看護学科)	4人	平成28年4月28日 (合同オリエンテーション) ①平成28年10月8日～12日 ②平成28年10月24日～28日 (各5日間)
東都医療大学 (看護学科)	6人	平成28年4月28日 (合同オリエンテーション) ①平成28年6月21日～23日、27日～28日 ②平成28年8月31日～9月1日、9月5日～7日 ③平成28年9月8日～9日、9月13日～15日 (各5日間)
東洋大学 (健康栄養学科)	2人	平成28年9月7、26、27、29日、10月3、7日 (6日間)
人間総合科学大学 (健康栄養学科)	2人	平成28年9月7、26、27、29日、10月3、7日 (6日間)
女子栄養大学 (実践栄養学科)	2人	平成28年9月7、26～30日、10月3～7日 (11日間)

## 7 保健所における研修

保健・医療・福祉の連携を推進するとともに、県及び市町の地域保健福祉関係職員等の資質向上を図り、各地域における健康福祉対策の強化を目的として、研修会を実施した。

### (1) 保健所別研修

#### 地域医療研修会

日時・場所	平成29年3月8日（水）19時30分～21時 鴻巣保健所 大会議室
テーマ	①北足立郡市医師会メディカルケアステーション運用ポリシーについて ②メディカルケアステーション操作実技研修
講師	北足立郡市医師会 情報システム委員長 今成 芳郎 氏
参加者	67名

### (2) 医療安全研修

日時・場所	平成29年2月23日（木）19時～20時30分 さいたま文学館 文学ホール
テーマ	「事例から考える医療安全」
講師	医療法人社団愛友会上尾中央病院 院長補佐・情報管理部長 長谷川 剛 氏
参加者	83名

## 8 健康づくり企画支援事業

保健所の機能強化方針（健康づくり情報提供機能の強化）に基づいて、地域の健康状況の分析や健康課題解決のための研修会を企画・実施し、市町等における保健事業の支援を通じた県民の健康増進を図った。事業内容は以下のとおり。

### (1) 鴻巣保健所管内地域・職域連携推進会議

期日・場所	内 容	参加者
H28. 6. 3 (金) 鴻巣保健所 中会議室	(1)各市町の特定健診・特定保健指導の実施状況と課題概要説明 (2)鴻巣保健所管内における健康づくり事業について (3)介護予防事業について (4)情報交換 ・保健事業及び肝炎重症化予防事業等 ・糖尿病性腎症重症化予防事業、国保データヘルス計画の取組状況	23人